

ひよこちゃんと



プレゼント

作：他力野 麗奈
イラスト：森永 愛理

あるところにひよこちゃんといへ、とてもやせしょレバの女の子がいました。

ひよこちゃんには大好きなママがいます。

今日はひよこちゃんのママのたんじょう日なので、町にプレゼントを買ひにいきました。

町にきたひよこちゃんは、さつそく色んなおみせにいきました。

さいしょにきたのは、アクセサリー屋さんです。

キラキラとしたアクセサリーに目をかがやかせるひよこちゃんですが、

どれも高くて自分には買えない物でした。

つぎにきたおみせはお花屋さんでした。

ここなり、ママのプレゼントが見つかるかもしれないと思つたひよこちゃんは、さつそくおみせに入りました。

おみせに入ると、色んなお花たちがたくさんさしていました。
きれいなお花がいっぱいあってどれがいいか迷っていました。

「なんの花をさがしてじるんだい？」

ひよこちゃんはネコのお花屋さんに話します。

「ママのたんじょうびプレゼントに、どんなお花がいいか見ていましたの」

それを聞いたネコのお花屋さんは、それならこれがいいよと話つてひよこちゃんに見せました。

「ネコのお花屋さんが持つてきたのは、ピンク色のチューリップでした。
「なんで、チューリップなの？」

ひよこちゃんがふしがれて云つと、ネコのお花屋さんが
そのいみを話しあじめます。

「チューリップには、思いやりやかわいないあいじょうつてじつ
いみがあるんだよ。

いつもがんばつているママにおへりたいなら
ぴつたりじゃないかな」

それを聞いてひよこちゃんは、自分のために
がんばるママをおもいかべました。

この花をおくつたら、ママは
よろこんでくれるかもしれない。

「このピンクのチューリップを
ひとつください」

ネコのお花屋さんは、チューリップを
紙につつんでひよこちゃんにわたしました。

ネコのお花屋さんはひよこちゃんに、「えがおで
がんばってね」と書いてみおくりました。



帰ってきたひよりちゃんにママがおでおかえりなさいと言いました。

「あのねママ、わたしたちものがあるんだ」

「うつむいてひよりちゃんは、後ろにかくしていた
ピンクのチューリップをママにわたしました。

ねじねじママに、ひよりちゃんはえがねで言いました。

「ママ、こいつもわたしのためにありがとうございました。

わたしたちはママの「ことずっと大好きだよ。おたんじょう日おめでとー。」

ひよりちゃんのかんしゃの気持ちに、ママはうれしそうにひよりちゃんを

やせしくだきしめました。

「ありがとうございます、大切にすみます」

ママにだきしめられたひよりちゃんは「うんー」とうれしそうにわざわざしました。

たんじょう日プレゼントは、ひよりちゃんにとってもママにとっても

わすれられないものになりました。

